

校内支援体制を確立し、特別支援教育の充実を図ることで、一人一人の教育的ニーズに的確に応えます。

特別支援教育とは…?

平成19年に特殊教育から特別支援教育への転換がなされました。それ以前の特殊教育では、障がいのある子どもが支援の対象でしたが、特別支援教育においては、教育的ニーズを有する全ての児童生徒がその対象となります。

子どもが有する教育的ニーズとして、例えば、友達と円滑に意思疎通を図ること、集団の活動によりよく参加すること、文字を読んだり書いたりすること、姿勢や注意を一定時間保持すること、などのようなことが考えられます。

特別支援教育下では、このような一人一人の教育的ニーズに応じた教育を充実させることで、障がいの有無やその他の個々の違いを認識し、様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の形成の基礎となることが期待されています。



校内支援体制の確立

特別支援教育の充実を図るためには、校内の支援体制を確立し、学校全体で児童生徒への指導及び支援に当たることが大切になります。

各小・中学校では、児童生徒の状態や教育的ニーズに的確に応じることができるよう、管理職や特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援委員会を設置するとともに、児童生徒の実態等の把握、児童生徒への支援の状況や指導の経過等について、定期的かつ継続的な協議を行うようにしています。

特に、以下については、重要な協議の柱として位置付け、検討を行うようにしています。

- 「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」(児童生徒への個別の指導及び支援の在り方について整理したもの)を作成し、活用すること。
- 児童生徒や保護者から申し出のあった「合理的配慮」(個別の状況に応じて行う必要な配慮や調整)について検討を行い、適切に実施すること。



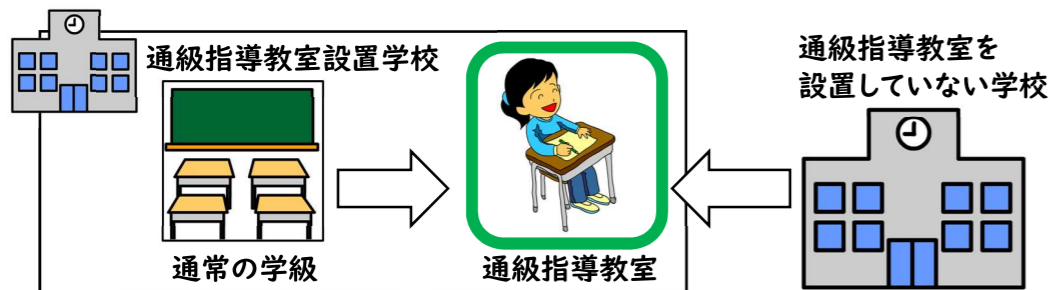
子どもの学びを支える多様な学びの場

子どもの学びを支える多様な学びの場として、通常の学級や通級指導教室、特別支援学級、特別支援学校があります。校内支援委員会等での検討を踏まえ、これらの学びの場や機会を効果的に活用できるように努めています。

<通級指導教室>

小・中学校の通常の学級に在籍する児童生徒で、言語障害やLD(学習障害)、ADHD(注意欠如多動性障害)や自閉スペクトラム症などの状態を理由に、生活や学習面において苦手さのある児童生徒が対象となります。

鹿屋市では、鹿屋小、西原台小、鹿屋中学校に通級指導教室を設置していますが、それ以外の学校に通う児童生徒も利用することができます。



通級指導教室では、一人一人が苦手になっていることの軽減や改善を図り、児童生徒自身が生活をしやすいことをねらいとしています。

<特別支援学級>

小・中学校内に設置される学級です。一人一人に応じたきめ細やかな指導を行うために、一つの学級を8人以内で編制します。特別支援学級も一つの学級であり、児童生徒は通常の学級又は特別支援学級のいずれかに籍を置くことになります。

特別支援学級では、一人一人の状態や教育的ニーズを踏まえ、学習環境や時間割、学習内容等を柔軟に変更・調整することができます。また、通級指導教室で行うような、一人一人が苦手になっていることの軽減や改善を図るための指導を受けることができます。

加えて、鹿屋市内の多くの学校では、通常の学級において交流及び共同学習を行い、同年齢の児童生徒同士で関わり合いながら学びを深めることができます。

なお、通常の学級に在籍する児童生徒が、特別支援学級で個別の学習指導を受けることはできません。

<特別支援学校>

鹿児島県教育委員会が設置する学校です。

一人一人に応じたよりきめ細やかな指導を行うために、一つの学級を6人以内(高等部は8人以内)で編制するとともに、二人の教員が担任となり、チーム・ティーチングで学習を進めています。また、多くの特別支援学校(鹿屋市では、鹿屋養護学校、牧之原養護学校)では、看護師が常駐し、医療的ケアが必要な児童生徒の受け入れも行っています。

加えて、児童生徒の居住地がある小・中学校と交流及び共同学習を行い、地域の中で共に生きる友達との関係づくりも行っています。

なお、特別支援学校へ就学する場合、鹿屋市が実施する教育相談を受けていただく必要があります。特別支援学校への就学を検討している場合は、幼稚園や保育所、学校を通じて、必ず鹿屋市教育委員会学校教育課へご相談ください。



<通常の学級>

30~40人までの児童生徒で編制する学級です。学習内容や学習を進める速さなどは、基本的に同じになります。児童生徒全員が分かりやすい授業を目指しつつ、個に応じた配慮を行います。必要に応じて、特別支援教育支援員を活用し、担任が行うことができない支援を行います。また、ICT機器等を活用し、一人一人が学びやすい方法で学べるようにしています。